ガス給湯器 取扱説明書

保証書付

特定保守製品

品　名　TP-520FESB-Q

型式名　GS-A2000E

このたびはガス給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この製品は『消費生活用製品安全法』に指定された特定保守製品です。(→P.14)
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

お使いいただくまえに
安全に正しくお使いいただくために・・・ 1
必ずお守りください・・・・・・・・・・ 1
各部の名称とはたらき・・・・・・・・・ 5

使いかた
ご利用前の準備・・・・・・・・・・・・ 7
お湯を使うには・・・・・・・・・・・・ 7
浴槽にお湯張りをするには・・・・・・・ 9
　お湯張り機能について・・・・・・・・ 9
　お湯張り機能を使ってお湯張りする・・ 9
　お湯張り温度・お湯張り量の設定・・・ 10
浴室から人を呼ぶ（呼び出しスイッチ）・ 11
チャイムや音声ガイドの音量を調節する・ 11

長くお使いいただくために
冬期の凍結予防をするには・・・・・・・ 12
長期使用製品安全点検制度・・・・・・・ 14
点検のポイント・お手入れのしかた・・・ 16
故障かな？と思ったら・・・・・・・・・ 18
　お湯の出かた・・・・・・・・・・・・ 18
　機器本体・・・・・・・・・・・・・・ 19
　リモコン・・・・・・・・・・・・・・ 19
　機器本体・リモコン・・・・・・・・・ 19
　リモコンにアラーム番号が出たとき・・ 20
アフターサービスについて・・・・・・・ 21
仕様一覧・・・・・・・・・・・・・・・ 22
保証書・・・・・・・・・・・・・・・ 裏表紙

TOKYO GAS

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について
この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠危 険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警 告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注 意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について

一般的な禁止

火気禁止

接触禁止

分解禁止

必ず行う

電源プラグを抜け

アースを接続せよ

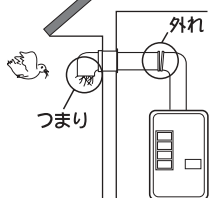
お願い	ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。
(→P. XX)	参照ページを示しています。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

⚠危 険

排気筒の定期点検
●排気筒（排気筒トップを含む）が外れていたり、鳥の巣・落葉・ススなどで詰っていないか定期点検をする。詰っていると排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。

禁 止

ガス漏れ時の処置
●ガス漏れに気づいたときは、
①すぐに使用をやめて、給湯栓を全て閉じる。
②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
③窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
④お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスに連絡する。
●全ての処置が終わるまでの間、絶対に
・火をつけない
・電気器具のスイッチの入・切をしない
・電源プラグの抜き差しをしない
・周辺の電話を使用しない
炎や火花で引火し火災のおそれがあります。

火気禁止

⚠警 告

屋外設置の禁止
●この機器は屋内設置形ですので、屋外に設置しない。雨水の浸入などで、故障の原因になります。

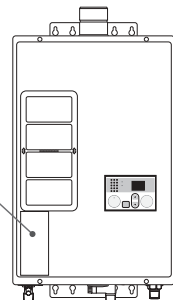
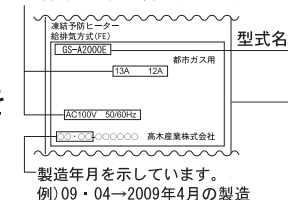
禁 止

アース必要
●この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

アースを接続せよ

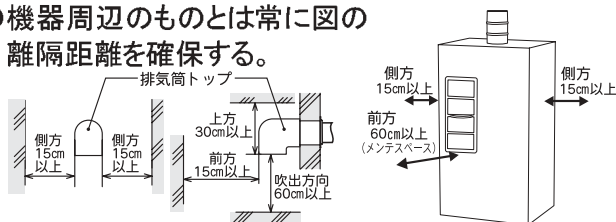
機器設置（および付帯工事）
●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

機器の銘板を確認
●機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で機器を使用する。
ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
●転居時の注意は(→P. 21)

ガス種・電源を確認

必ずお守りください

⚠警 告

火災予防のために必ず守ること

●機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。

●機器および排気筒（排気筒トップを含む）の周辺には紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。

●機器および排気筒（排気筒トップを含む）の周辺ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。

●機器および排気筒（排気筒トップを含む）の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

●給気口や排気筒トップは洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。

禁　止

排気筒トップに囲いをしない

●増改築などによって排気筒トップを屋内状態にしたり、ビニールや波板などで囲いをしない。一酸化炭素中毒や火災の原因になります。

給気口・排気筒トップの周囲

●給気口および排気筒トップの前方にものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

換気注意

●換気口・給気口は常に確保し、物などで塞がない。また、機器を使用する際は台所や脱衣所などのレンジフードや換気扇を使用しない。室内に排気が入って一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

機器本体に無理な力を加えない

●機器本体やガスの接続部などに乗らない。けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

分解禁止

●お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常作動して事故の原因となります。

分解禁止

お子様には十分な注意を

●浴槽にお湯張りしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながることがあります。

給湯・シャワー使用時の注意

①シャワーなどお湯を使う場合は最初に熱いお湯が出ることがあるので注意する。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。

②給湯使用時は出湯管（蛇口）が熱くなるので、やけどに注意する。

③お湯を止めた後に再使用するとき、またお湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは万一機器が故障した場合には、一瞬熱いお湯が出ることがあるので注意する。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。

④シャワー・給湯使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。

⑤浴槽に入るときは、手でお湯の温度を確認して入浴する。確認を怠ると、やけどのおそれがあります。

手で温度を確かめる

地震、火災などの緊急の場合

●迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。

異常時の処置について

①給湯栓を開けても点火しない場合、また、使用途中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。

②本書の「故障かな?と思ったら」（→P．18～P．20）に従って処置をする。

③上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへ連絡する。

給湯栓・ガス栓を閉じる

機器本体でのやけどに注意

●機器の使用中または使用後しばらくは、排気筒（排気筒トップを含む）とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。特に小さなお子様のおられるご家庭ではご注意ください。

接触禁止

ガス接続について

●この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格、技術が必要です。機器の設置、移動、取外しの際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご相談ください。

お使いいただくまえに

必ずお守りください

⚠注　意

電気事故防止

●電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や発火の原因になります。

●電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発火の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。

●電源プラグのほこりなどは、定期的に取る。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

●濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。

禁　止

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

●コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因になります。

長期間使用しない場合

●長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

用途についての注意

●一般家庭での台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなどの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながることがあります。

●車両・船舶への搭載はしない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

排気筒トップに指や棒を入れない

●排気筒トップに指や棒を入れない。故障ややけがの原因になります。

配管カバーについての注意

●配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかり閉める。(→P. 17)

ソーラー接続禁止

●この機器をソーラーシステムに接続しない。
ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどするおそれがあります。

お願い

電源プラグを抜かない

●お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のために水抜きを行うとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

●この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。

●停電時は給湯栓を閉じてください。

給湯栓を閉じる

給湯栓を閉じる

●再通電したときは、リモコンの設定（給湯温度・湯量など）を行い、表示を確認したあとご使用ください。

断水のとき

●断水のときは、給湯栓を閉じ、本体操作部の運転スイッチを切ってください。

●断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには使用しないでください。飲用や調理用には適さない水が給水配管内にとどまることがあります。

飲用にお使いのときは

●機器内に長時間たまった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。

リモコンの扱いについて

●浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。本体操作部には水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。
故障の原因になります。

●リモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。

スプレー使用注意

●機器近くでシリコン系スプレーを使用しないでください。故障の原因になります。

長期間使用しないときは

●「機器の水を抜く方法」（→P. 12）に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

特監法対象機器

●この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。シールが貼られていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第６条の規定による表示	
工事事業者の氏名又は名称及び連絡先	ＴＥＬ
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び施工年月日	年　月　日

お願い

ガス事故防止のために

●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることを本体操作部または、リモコンの燃焼表示で確認してください。

日常の点検・お手入れ

●安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P．16)
●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
●浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10％程度）等で拭き取ってください。

通水使用の禁止

●運転スイッチを切った状態で給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により機器の寿命を短くします。（冬期の凍結予防を除く）

市販の補助用具について

●事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
●水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
●やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
●混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

凍結についての注意

●凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」（→P．12）に従って処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
●凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
●凍結したままでは絶対に使用しないでください。
●凍結したときは「凍結してしまったとき」（→P．13）に従って処置をしてください。

この機器は一般家庭用です

●業務用のような使いかたをされると、機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

設置する場所や状況について

設置場所について

●設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼ファンの音）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者とご相談ください）
●足場などを組んだり、ハシゴ、脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
●壁などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。機器の点検・修理のためと、燃焼不良の発生を防止するためです。（機器の点検修理のための空間については、販売店もしくは東京ガスにお問い合わせください）

給排気について

●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

塩ビ管の使用について

●給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

地下水や温泉水、井戸水の注意

●この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴があくなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

ほこり

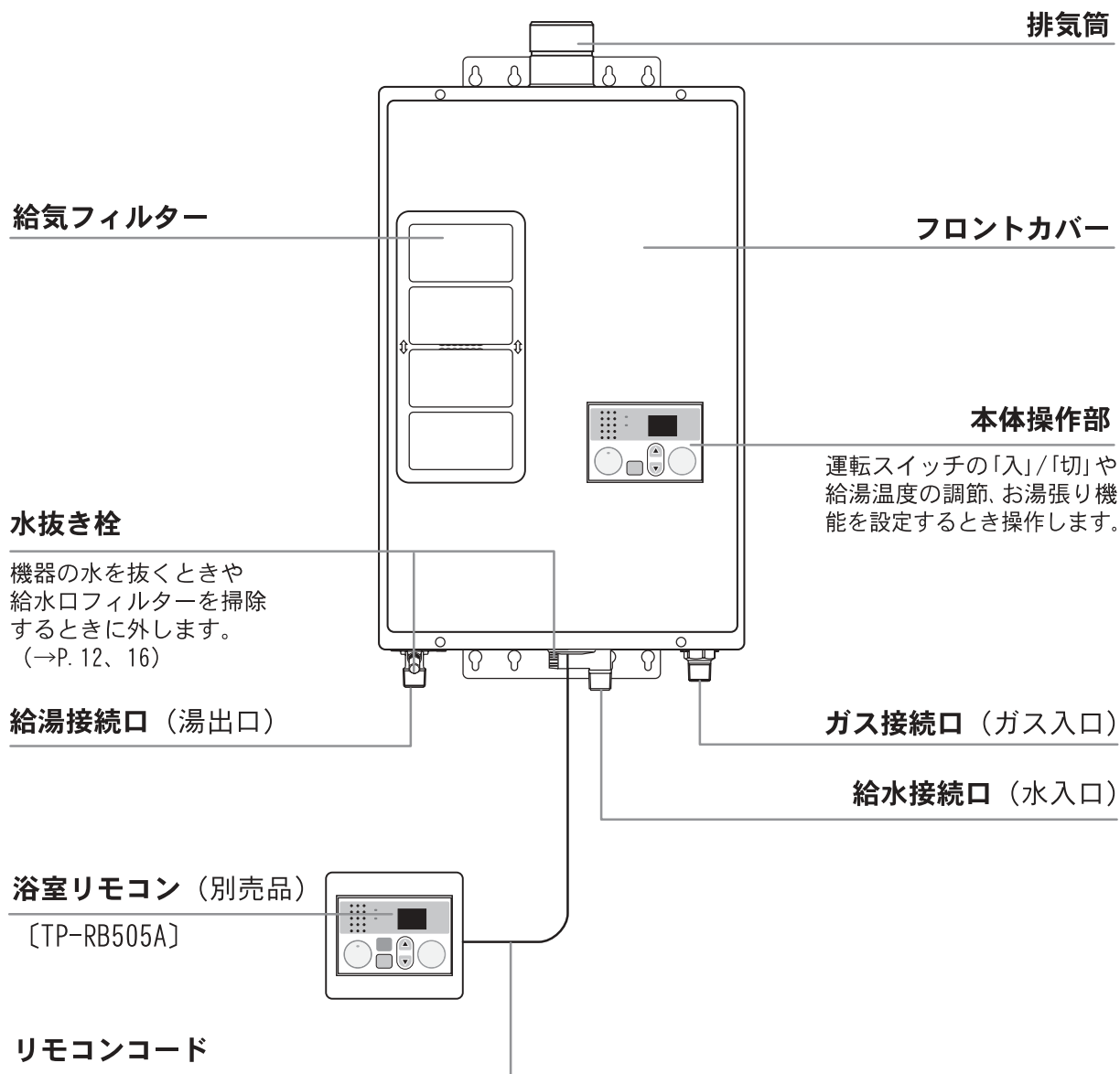
●砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

排気ガス

●増改築時には、燃焼排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食するおそれがあります。
●排気筒トップの周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。（寒い日には排気ガスが白く見えます）

禁　止

各部の名称とはたらき

■機器本体

■本体操作部について

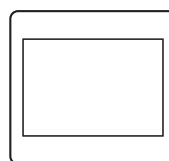
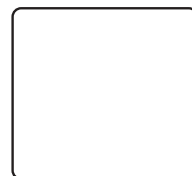
本体操作部は取り外すことが可能です。
別売品のリモコン取付部材（PB-42）と組み立てて、台所リモコン〔TP-RK505A〕として使用できます。

リモコン取付部材（PB-42）には、枠・リモコンシール・移設用リモコン接続リード線・ビス類一式が含まれます。
※リモコンコードは別売品となります。

■本体操作部

燃焼ランプ（赤）

給湯燃焼中に点灯します。

優先ランプ（緑）

優先ランプが点灯しているときは給湯温度の調節が可能です。

お湯張りランプ（緑）

お湯張りスイッチが「入」のとき点灯します。
設定した湯量まで達すると点滅し、お湯張りスイッチを「切」にすると消灯します。 （→P.9）

表示画面

通常は給湯温度を表示しています。
また設定変更時には、お湯張り温度お湯張り量・音量を表示します。

お湯張り温度変更表示

お湯張り温度を変更するときに点灯します。

お湯張り量変更表示

お湯張り量を変更するときに点灯します。

お湯張りスイッチ

スイッチが「入」のとき、設定した湯量までお湯はりすると、出湯が停止して音声でお知らせします。
その後給湯栓を閉じてください。 （→P.9）

音量変更表示

音量を変更するときに点灯します。

設定スイッチ

お湯張り温度・お湯張り量・音量を設定するときに押します。 （→P.9～11）

運転スイッチ

操作するときに最初に押して「入」にします。
給湯温度を表示します。 （→P.7）

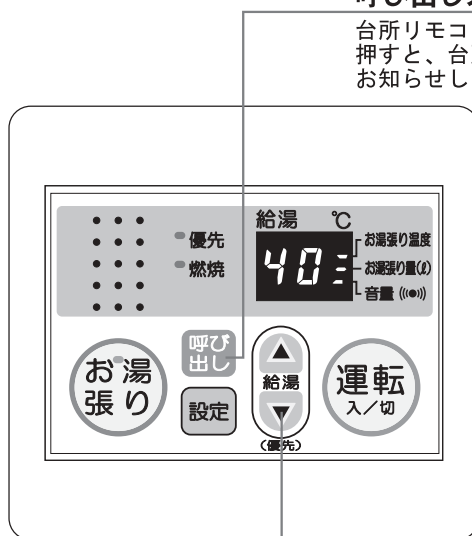
給湯温度設定スイッチ

給湯温度・お湯張り温度・お湯張り・音量を調節するときに使用します。

■浴室リモコン [TP-RB505A]（別売品）

※説明は本体操作部との違いのみ説明します。
それ以外は本体操作部の説明をご覧ください。

呼び出しスイッチ

台所リモコンを取り付けている場合はスイッチを押すと、台所リモコンでチャイムと音声が流れてお知らせします。 （→P.11）

給湯温度設定スイッチ

給湯温度・お湯張り温度・お湯張り量・音量を調節するときに使用します。
給湯温度を調節するときに優先切替ができます。

ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋内にある機器の準備をします。

1 機器や機器周辺の点検・確認を行います

「点検のポイント」（→P. 16）をご覧ください。

2 給水元栓を全開にします

機器の下にあります。

3 給湯栓を開けます

水が出ることを確認して、

給湯栓を閉じます。

4 ガス栓を全開にします

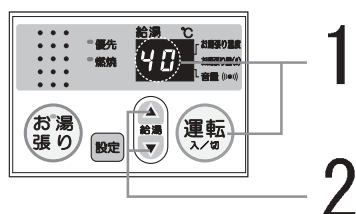
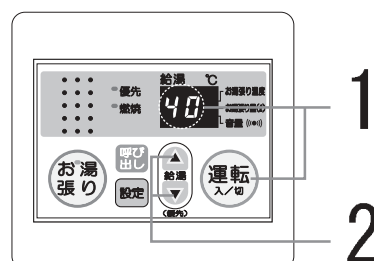
機器の下にあります。

5 電源プラグを差し込みます

コンセントは機器周辺部にあります。

お湯を使うには

おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。
給湯は別売品の浴室リモコンからも操作できます。

本体操作部

浴室リモコン

1 運転スイッチを「入」にします

運転スイッチを押します。

表示

給湯温度

運転「入」になると給湯温度を表示します。

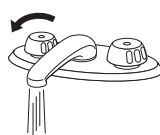
2 給湯温度を調節します

給湯温度は以下の14段階から選べます。

ご使用の目安　（単位：℃）

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60
食器洗いなど		シャワー・給湯など					給湯など				高温		

■：工場出荷時

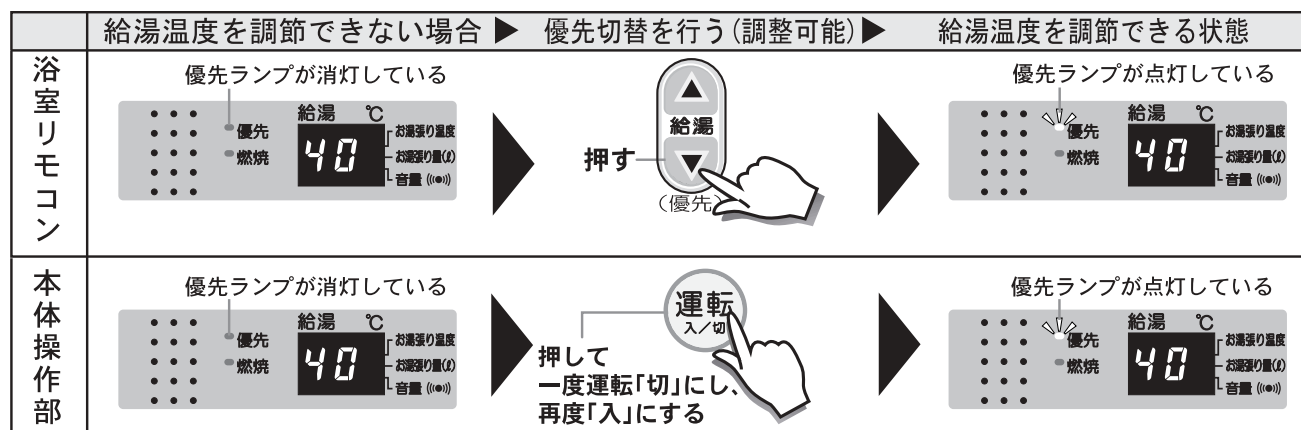
3 給湯栓を開けてお湯を出し、使い終わったら閉じます

燃焼ランプが点灯します。

燃焼ランプが消灯します。

ただし、他の給湯栓でお湯が使われているときは消灯しません。

お湯を使うには（別売品のリモコンを使う）

■優先切替について（給湯温度を調節できるリモコンの切替えを「優先切替」といいます）

優先ランプが点灯しているリモコンで給湯温度が調節できます。優先ランプが消灯している場合は、下記の手順で優先ランプを点灯させてから給湯温度を調節してください。（別売品の浴室リモコンがある場合）

（設定温度は例です）

お湯を使うときの注意

⚠警告
- ●給湯・シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- ●シャワー使用中は使用者以外、温度の変更や優先の切替・運転スイッチを「切り」にしない。行うと、シャワーの温度が急変し、危険です。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

ご注意ください
- ●給湯栓を閉じても再使用時の点火をより早くするため、機器の燃焼ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。
- ●お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓閉め忘れ防止のためアラーム番号“011”を表示し、燃焼が止まり水になります。その場合は給湯栓を一度閉じ、再度給湯栓を開けてご使用ください。

お願い
- ●表示している給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。
- ●使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。（配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります）
- ●給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、燃焼が停止して水になることがあります。
- ●水温が30℃近くなる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。

給湯温度を調節するときの注意

ご注意ください
- ●給湯温度を50℃以上に設定するとチャイムが鳴り、音声ガイドが“熱い温度にセットされました 注意してください”と音声ガイドが流れます。

お願い
- ●55℃以下の温度で給湯・シャワーを使用しているときは、やけど防止のため60℃には設定変更できません。60℃に設定しようとすると“ピピピピピ”と警告音が鳴って受け付けません。変更をしたいときは、一旦出湯を止めてから設定してください。
- ●通常、給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60℃に設定したときは、やけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55℃にセットされます。
- ●はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、一度通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が40℃になります。再度セットし直してください。

- ●優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60℃だった場合、自動的に55℃にセットし直されます。

浴槽にお湯張りをするには

■お湯張り機能について

浴槽にお湯張りをするときは、お湯張り機能を使うとお湯の入れすぎがなく便利です。
設定した湯量になると自動的に出湯を停止し、本体操作部、浴室リモコンの両方でチャイムと音声ガイドで、お知らせします。

お湯張りを途中で止めたいときは

給湯栓を閉じてから、お湯張りスイッチを押してお湯張りランプを消灯させます。

お湯張り中に停電があったときは

水が流れたままになります。
給湯栓を閉じて、浴槽を空の状態にしてから、お湯張りをやり直してください。

■お湯張り機能を使ってお湯張りする

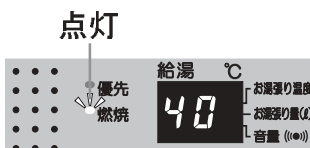
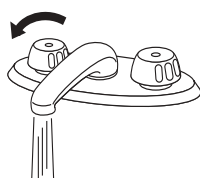
初めて操作するときは、工場出荷時の設定になっています。お湯張り温度:40℃、お湯張り量:180ℓ

1 運転スイッチを「入」にします

給湯温度を表示します。

2 お湯張りスイッチを押します

お湯張りランプが点灯します。
チャイムが鳴り、音声ガイドが2回鳴ります。
"お湯張りを始めます。おふろの栓をしてから、蛇口を開けてください"

3 おふろの栓をして、給湯栓を開けます

燃焼ランプが点灯します。

4 音声ガイドが鳴ったら給湯栓を閉じます

設定したお湯張り量に達すると、自動的にお湯が止まります。
お湯張りランプが点滅して、チャイムが鳴り、音声ガイドが2回流れます。
"おふろに入れます。
蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください"

5 お湯張りスイッチを押します

お湯張りランプと燃焼ランプが消灯します。

※音声ガイドでお知らせします"蛇口"は、給湯栓のことをいいます。

⚠注意
- 入浴するときは十分かきまぜ、手で温度を確認してから入浴する。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

お願い
- お湯張り機能を使うときは、給湯栓のみ開け、水と混ぜないでお湯張りしてください。
- お湯張り機能を使ってお湯張り中に台所など他の場所でお湯を使うと、他で使った量だけ浴槽へのお湯張り量が減りますので気をつけてください。(たとえば、設定湯量が180ℓのとき、台所で30ℓ使うと、浴槽に150ℓ入れたところでチャイムと音声ガイドがお知らせします)
- お湯張り中には優先の切替え、温度の変更ができません。警告音が鳴り、"お湯張りをしています"と2回お知らせして受け付けません。
- お湯張りが終わった後は早めに給湯栓を閉じてから、お湯張りスイッチを押してください。給湯栓を閉じるまで他の給湯栓を開けてもお湯はでません。
- お湯張り機能を使ってお湯張りした後、給湯栓を閉じる前にお湯張りスイッチを押すと、給湯栓から水が流れ、その後自動的に止まります。チャイムが鳴り、"蛇口が開いています　蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください"とお知らせし、リモコンに「CL」を点滅表示します。
お湯張りが終わったら、必ず給湯栓を閉じてから、お湯張りスイッチを押してください。
- リモコンに「CL」が点滅表示されたら、給湯栓を閉じてからお湯張りスイッチを押して解除してください。

■お湯張り温度･お湯張り量の設定

工場出荷時は、お湯張り温度40℃、お湯張り量180ℓに設定されていますが、お好みで設定することができます。

1 運転スイッチを「入」にします

給湯温度

給湯温度を表示します。

2 設定スイッチを押します

お湯張り温度

お湯張り温度変更表示が点灯し、お湯張り温度が点滅します。

3 お湯張り温度を調節します

温度が上がります ▲
給湯
温度が下がります ▼

▲・▼スイッチは、お湯張り温度が点滅している間に押します。

お湯張り温度は以下の12段階から選べます。

ご使用の目安（単位:℃）

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるい			標準			あつい					

■:工場出荷時（40）

続けてお湯張り量を設定するときは、お湯張り温度が点滅している間に4へ進んでください。

4 設定スイッチを押します

お湯張り量

お湯張り量変更表示が点灯し、お湯張り量が点滅します。

5 お湯張り量を調節します

湯量が増えます ▲
給湯
湯量が減ります ▼

▲・▼スイッチは、お湯張り量が点滅している間に押します。

リモコンには下1桁の“0”が表示されません。

例）200ℓ → 20

湯量は以下の16段階から選べます。

表示	5	12	14	16	18	20	22	24
設定	50ℓ	120ℓ	140ℓ	160ℓ	180ℓ	200ℓ	220ℓ	240ℓ
表示	26	28	30	32	34	36	40	50
設定	260ℓ	280ℓ	300ℓ	320ℓ	340ℓ	360ℓ	400ℓ	500ℓ

工場出荷時には180ℓに設定されています。

▲・▼スイッチで入力後、しばらくたつと確定となります。給湯温度表示に戻ります。

表示

給湯温度

●浴槽の種類によっては、お湯張り量をあまり多めに設定するとあふれることがあります。初めは、工場出荷時の180ℓでお湯張りし、実際の湯量を確認してから増減することをおすすめします。

●お湯張り温度、湯量は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、停電や電源プラグを抜いたあと再通電したときは、お湯張り温度40℃、湯量180ℓになりますので再度設定してお使いください。

メモ

●サーモスタット付き混合水栓をお使いの場合、リモコンの設定温度より低い温度に水栓の温度を設定すると、水が混合されて設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽からあふれることがあります。サーモスタット付き混合水栓で設定する温度は、リモコンで設定された温度以上でご使用ください。また、お湯張り終了後は、サーモスタット付混合水栓の設定温度を通常使用している温度に下げてください。

●お湯張りが終わった後に給湯栓を閉じないと、1分間隔で給湯栓から水（配管内の湯）が出ます。その後チャイムが鳴り、音声ガイドが“蛇口が開いています　蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください”とお知らせします。そのまま10分以上給湯栓が閉じられないと、リモコンに「CL」が点滅表示されます。「CL」表示になると、給湯栓から水は出なくなり、チャイムや音声ガイドも流れません。

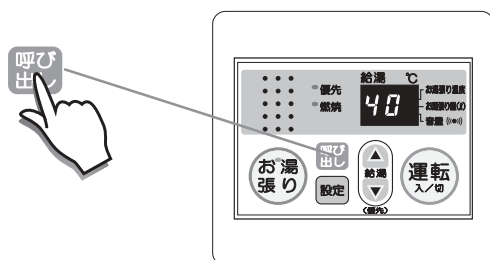
●1分間隔で給湯栓から水が出るのは、給湯栓が閉じられたかどうかを機器が確認する動作です。

●設定スイッチを順に押して「お湯張り温度」「お湯張り量」「音量」と続けてセットすることもできます。設定スイッチは以下のように操作します。

使いかた

浴室から人を呼ぶ（呼び出しスイッチ）

浴室リモコンの呼び出しスイッチを押すと、本体操作部でチャイムを鳴らして知らせます。

呼び出しスイッチを押します

浴室リモコンでは、呼び出しスイッチを押している間チャイムが鳴ります。

本体操作部ではチャイムが鳴り、
“おふろで呼んでいます”
と2回鳴ってお知らせします。

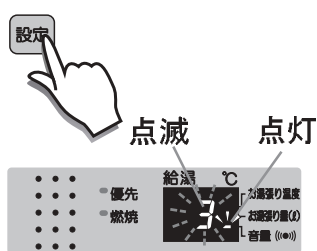
- ●運転スイッチの「入」/「切」に関係なく操作できます。
- ●インターホンの機能は付いていません。

チャイムや音声ガイドの音量を調節する

チャイムや音声ガイドの音量は大きくしたり、小さくしたり、無音にしたりすることができます。
本体操作部・浴室リモコンで、別々に設定できますので、お好みに合わせて調節してください。

1 運転スイッチを「入」にします

給湯温度を表示します。

2 設定スイッチを数回押し、音量変更表示にします

音量変更表示が点灯し、
音量の数字が点滅します。

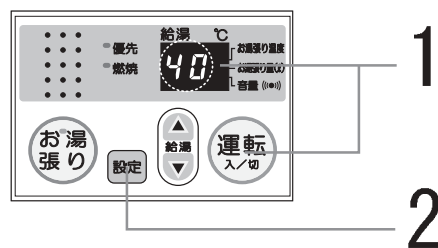
3 音量を調節します

音量は以下の4段階から選べます。

0(無音)	1(小)	2(中)	3(大)

■:工場出荷時

▲・▼スイッチは、音量の数字が点滅している間に押します。

▲・▼スイッチで入力後、しばらくたつと確定となります。

- ●設定した音量は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。
- ●音量を「無音」にすると、音声ガイドは流れませんが、浴室リモコンで呼び出しスイッチが押されたときには、本体操作部の呼び出し音声が「大」で流れます。
- ●台所リモコンの呼び出し音声の音量、およびスイッチ操作時の“ピッ”という音の音量は調節できません。

冬期の凍結予防をするには

⚠注意
- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

■凍結予防装置による方法　通常の寒さのとき（外気温－１５℃程度まで）

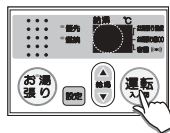
機器の電源プラグは、抜かないでください

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータがついています。電源プラグを抜いたりブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。

- ・凍結予防装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- ・配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど地域に応じて処置をしてください。

■給湯栓の水を流す方法　寒波などで特に寒くなりそうなとき

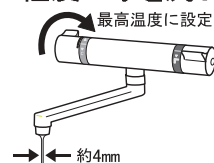
この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1 本体操作部の運転スイッチを「切」にします。

2 ガス栓を閉じます。

3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます。

最高温度に設定

流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量を確認してください。

約4mm

●お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

●通水使用の禁止として、運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出さないようにお願いをしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。（→P．４）
●給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

■機器の水を抜く方法

長期使用しないときは、水抜きをしてください

入居前や長期不在で家のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し、凍結予防します。水抜き後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

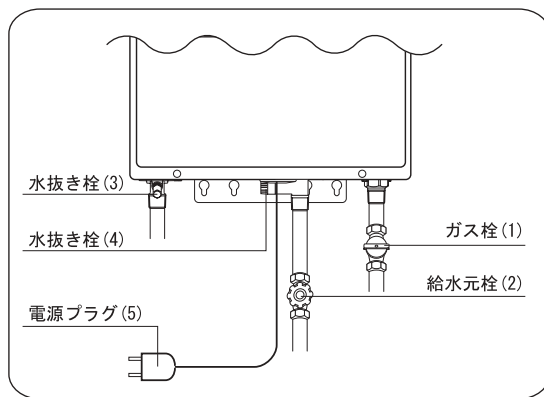
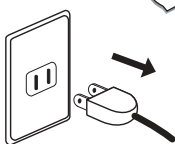
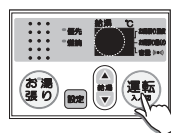
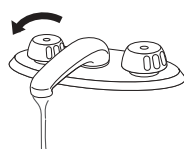
⚠注意
- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

1 ガス栓（1）、給水元栓（2）を閉じます。

2 すべての給湯栓を全開にします。

3 水抜き栓（3）（4）を外して、水が出ることを確認します。

4 運転スイッチを「切」にします。10秒以上経過後、必ず電源プラグ（5）を抜きます。

電源プラグを抜き忘れますと機器の故障の原因となります。

⚠注意●配管カバーのフロントカバーを外した場合は、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P．17）

お願い●床などに水が流れては不都合な場所で水抜きをするときは、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

使いかた

長くお使いいただくために

冬期の凍結予防をするには

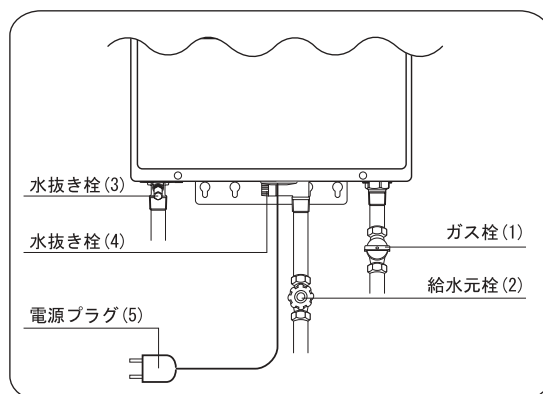
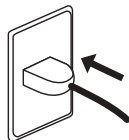
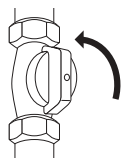
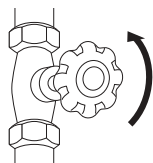
■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

1 水抜き栓(3)(4)および
すべての給湯栓を閉じます。

2 給水元栓(2)を開け、全ての給湯栓も
開けて水が出ることを確認します。
機器や配管から水漏れがないことを確
認し、給湯栓を閉じます。

3 ガス栓(1)を開けます。

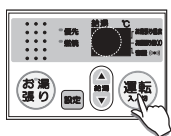
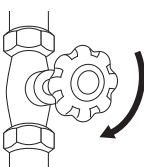
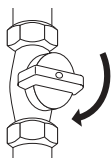
4 電源プラグ(5)をコンセントに
差し込みます。

お願い ●水抜きをした後に再使用するときは、水抜き栓を元通り確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

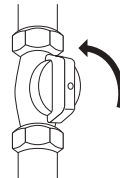
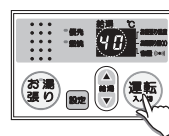
■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。
解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

1 ガス栓(1)を閉じます。

2 給水元栓(2)を閉じます。
配管が破損していると、解凍した
ときの水漏れの原因になります。

3 本体操作部またはリモコンの運転スイッチを
「切」にします。

4 ときどき給湯栓を開けて、
給湯栓から水が出ることを確認します。
水が出てくれば使用できます。
通水したら、機器および配管から
水漏れがないか確認してください。

5 ガス栓(1)を開けます。

6 本体操作部またはリモコンの運転スイッチを
「入」にします。

⚠注意●配管カバーのフロントカバーを外した場合は、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。
(→P. 17)

お願い ●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。

長期使用製品安全点検制度

■長期使用製品安全点検制度について

この製品は消費生活用製品安全法（消安法）で指定された特定保守製品です。

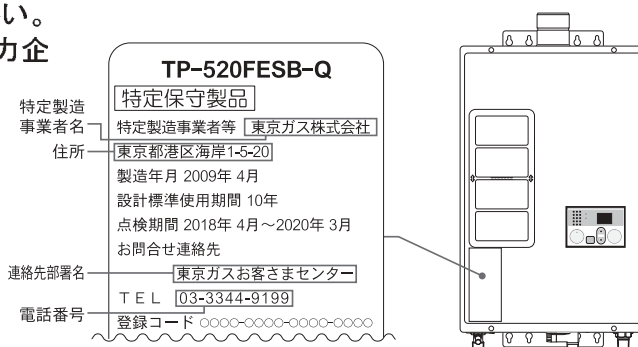
●特定保守製品とは『消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等から見てその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第2条第4項）』として指定された製品です。

■法定点検（有料）について

特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが製品の所有者の責務として求められています。（消安法第32条の14）この製品に表示してある点検期間になったら、忘れずに点検を受けてください。なお、法定点検後も機器を継続して使用する場合には、こまめに（年1回程度）点検を受けることがこの機器を安全にご使用いただくために必要となりますので、ご注意ください。また、法定点検は、法定点検の基準に製品が適合しているかどうかを確認するものであって、その後の安全を担保するものではありません。

●この製品の点検期間は下図のように表示しています。

●この製品は設計標準使用期間10年の前後1年間を法定の点検期間として設定しています。
点検期間には忘れずに法定点検（有料）をご依頼ください。

●法定点検は東京ガスが本点検作業を委託している協力企業の作業員が行います。

■所有者登録について

特定保守製品の所有者は、この製品の製造事業者に法定の所有者登録をすることが求められています。（消安法第32条の8第1項および第2項）

下記、所有者登録の方法をご覧になり、いずれかの方法で、ご登録をお願いします。

<u>また、引越し等で住所が変わった場合や所有者が変わった場合など、所有者登録の内容に変更が生じた場合は、速やかに登録内容の変更をお願いします。</u>

所有者登録情報に関するお問合せは「■法定点検のお問合せ連絡先について」（→P. 15）をご覧ください。

所有者登録や登録にかかわる内容変更のご登録をしない場合は点検通知が届きません

なお、ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および弊社規定により、適切な安全対策の元に管理し、法定点検・リコール等製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

所有者登録の方法　以下の方法で登録を行います。

所有者票（返信はがき）で登録する

●添付の所有者票に必要事項をご記入の上、投函してください。

※所有者登録は聞き間違い等による誤登録を防ぐため、お電話での受付はしておりません。

法定点検通知について

●法定の所有者登録をいただいた方に、法定点検の通知をいたします。（消安法第32条の12）
通知は弊社から、はがきにて送付します。

●法定点検に関するお問い合わせは、「■法定点検のお問合せ連絡先について」（→P．15）をご覧ください。

長期使用製品安全点検制度

■この製品の設計標準使用期間について

この製品の設計標準使用期間は10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えてご使用になると、経年劣化による一酸化炭素中毒や火災等の事故に至るおそれがあります。

設計標準使用期間とは
標準的な使用条件（下記の 設計標準使用期間の算定の根拠 参照）の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです。（消安法第３２条の３） 無償保証期間とは異なります。

設計標準使用期間の算定の根拠

この製品の設計標準使用期間は、製造年月を始期とし、ＪＩＳ　Ｓ　２０７１「家庭用ガス温水機器・石油温水機器の標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」の「６　標準加速モード」に従って以下の標準使用条件で、耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設定しています。

標準使用条件			
家族構成	4人世帯	給水温度	15℃
用途	洗面・台所・湯張り・シャワー	出湯温度	40℃
季節	中間期（春、秋）	1日使用量	456ℓ
気温/湿度	20℃/65％	使用時間/日	1時間
電源電圧/周波数	100V（50Hz/60Hz）	使用日数/年	365日

ご注意ください

●上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境（高温・多湿・寒冷地・海岸近辺（塩害地域）・高地（海抜１，０００ｍ以上）・温泉水・井戸水・地下水使用など）などで使用した場合は、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されますので、製品に表示している点検期間より早期の点検を実施してください。お客様ご自身が思い当たる場合や気になる点がある場合は下記にご連絡ください。

■法定点検のお問合せ連絡先について

法定点検に関するお問合せは、下記までご連絡ください。

お問合せ連絡先
東京ガスお客さまセンター　TEL:03-3344-9199　受付時間/月曜日～土曜日（祝日を除く）　9:00～19:00

●点検費用はお客様にご負担いただくこととなります。点検料金につきましては、上記 お問合せ連絡先 へお問合せください。また、点検の結果、整備・修理が必要となった場合は別途費用が発生します。
●点検費用や点検を実施する事業所に関しては、弊社ホームページ（http://home.tokyo-gas.co.jp/）からご確認いただけます。

法定点検以外のお問合せ
お客さまセンター（下記地域以外）　0570-002211　NTTナビダイヤル　または、　03-3344-9100
・日立支社 0294-22-4131　・熊谷支社 048-522-5171　・甲府支社 055-253-1341　・宇都宮支社 028-634-1911　・群馬支社 027-322-2523

■部品の保有期間について

この機器の部品の保有期間は以下の通りです。

部品	保有期間	部品内容（部品名）
点検に係わる整備用部品	11年	点検の結果必要となると見込まれる部品です パッキン・Oリング・点火プラグ・イグナイター・フレームロッド・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ・COセンサ・給気フィルター
補修用性能部品	10年	機器の機能を維持するために必要となる部品です

■定期点検について

機器を安心してより長くご使用いただくために、法定点検の他に1年に1回程度の定期的な点検を受けることをおすすめします。点検はお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご相談ください。
また、日常の点検およびお手入れについては「点検のポイント・お手入れのしかた」（→P.16～17）をご覧ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント（月1回程度） 次の10のポイントで点検してください。

1 機器および配管から水漏れはありませんか?
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。

2 機器および配管からガスの臭気がしませんか?

3 運転中に機器から異常音がしませんか?

4 機器の外観に異常は見られませんか?

5 機器のまわり、および排気筒・排気筒トップのそばに燃えやすいものはありませんか?
また、整然とされていますか?
機器のまわりが雑然としていると、機器の内部に害虫（ゴキブリなど）が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。

6 排気筒トップへの積雪や、屋根から落ちた雪により排気筒トップが塞がれていませんか?
排気筒トップが塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には排気筒トップの点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気筒トップを塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへご連絡ください。

7 排気筒（排気筒トップを含む）の損傷や詰まり、外れていることはありませんか?

8 給気フィルターに、ごみ・ほこりが詰まっていたり、変形・破損はありませんか?

9 給気フィルターが機器に確実に装着されていますか?

10 給気フィルターが物などで塞がれていませんか?

ご注意ください ●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。

■お手入れのしかた（月1回程度）

機器本体およびリモコンの掃除

●汚れは、湿ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。
●シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。

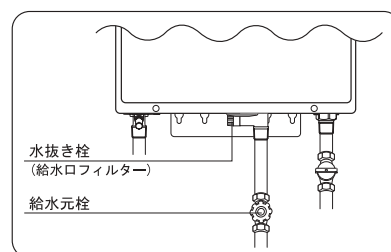
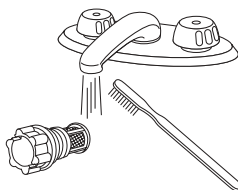
給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。
そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に、新築の場合）

1 給水元栓を閉じます。

2 給水接続口にある水抜き栓（給水口フィルター）を外します。

3 歯ブラシなどで洗います。

4 元のように取り付けます。

⚠警告 ●機器本体のフロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

ご注意ください
●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。
●本体操作部には水をかけないようにしてください。内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

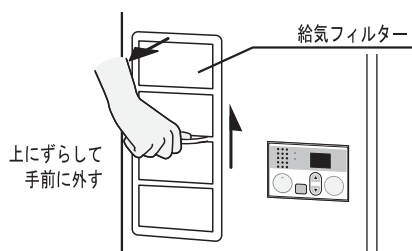
お願い
●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
●水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。
●給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
●給水口フィルターは、元通りに確実に閉じてください。閉じ方が不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

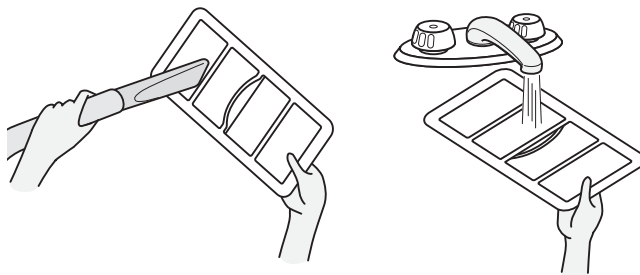
点検のポイント・お手入れのしかた

給気フィルターの掃除

給気フィルターは月に一度は必ず掃除してください。給気フィルターにほこりやゴミが詰まると、本体操作部または浴室リモコンの表示画面にアラーム番号051が点滅し、“ピッピッピッピ・・・”と鳴ります。アラームブザーの停止は、運転スイッチを押して行ってください。

給気フィルターの外し方

- 本体操作部またはリモコンの運転スイッチを「切」にします。
- 上にずらして手前に引くと給気フィルターが外れます。

給気フィルターを掃除する

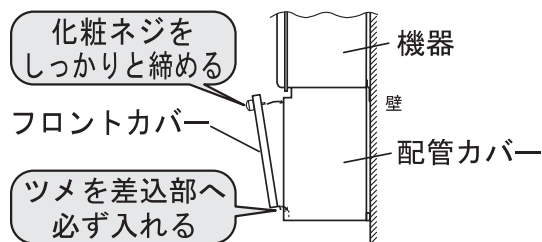
- ほこりやゴミを掃除機で軽く吸い取るか、水洗いします。

- 元のように取り付けます。
  濡れている場合は、よく乾かしてから、取り付けてください。

■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後は、ガス栓を開いて運転スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへご相談ください。

配管カバーのフロントカバーについて

配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元の通り取り付けてください。

①カバー下部のツメを差込部へしっかりと差し込み、外れないことを確認。
②化粧ネジを確実に締める。

お願い

- 給気フィルターをベンジン・シンナー・みがき粉などで拭いたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけないでください。
- 給気フィルターを外したままでは使用できません。また、濡れたまま取り付けて使用しないでください。故障の原因となります。

※給気フィルターのアミの破れ・変形・損傷のときは、お買い上げの販売店でお求めください。

■お湯の出かた

こんなとき	故障ではありません
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出ない	最初に使うときは、機器から給湯栓までの配管内の水が押し出されるまで少し時間がかかります。
夏などぬるいお湯が出ない	給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。水温が高いとき、ぬるいお湯を少量出そうとするとお湯の温度が高くなることがあります。
冬などあついお湯が出ない	お湯の量を少なめにしてお使いください。水温が低いときには、お湯を出しすぎるとあついお湯が出ない場合があります。
給湯栓を絞りすぎて水になった	給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。機器から出るお湯の量が、１分間に約3.0ℓ以下になると消火するためです。
お湯が白く濁って見える	水の中の空気が分離して気泡となるためです。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違って無害なものです。
給湯栓を開けたとき、お湯の量が変動する	湯温を安定させるために自動的に湯量調整をしています。すぐに湯量は安定します。

こんなとき	ここを調べてください
あついお湯が出ない	◎湯温調節は適切ですか？ (P. 7) ◎ガス栓が全開になっていますか？ (P. 7)
ぬるいお湯が出ない	◎湯温調節は適切ですか？ (P. 7) ◎給水口フィルターが詰まっていませんか？ (P.16) ◎給湯栓が十分開いていますか？ (P.7,9) ◎給水元栓が全開になっていますか？ (P. 7)
お湯が出ない（運転しない）	◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか？ (P. 7) ◎停電していませんか？ (P. 3) ◎ガス栓が全開になっていますか？ (P. 7) ◎給水元栓が全開になっていますか？ (P. 7) ◎給水口フィルターが詰まっていませんか？ (P.16) ◎給湯栓が十分開いていますか？ (P.7,9) ◎断水していませんか？ (P. 3) ◎凍結していませんか？ (P.13) ◎お湯を1時間以上連続使用しませんでしたか？ (P. 8) ◎ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していませんか？ ◎LPガスの場合、ガスがなくなっていませんか？
家中のお湯が出なくなった	◎お湯張り機能を使ってお湯張りしたあとお湯張りスイッチを解除しましたか？ (P.9)

それでもわからないときはアフターサービスをお申しつけください

故障かな?と思ったら

■機器本体

こんなとき	故障ではありません
寒い日に排気口から白い湯気が出る	冬に吐く息が白いのと同じように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。
出湯停止後も燃焼ファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするためしばらくは回転しています。
給湯栓を閉じると、給湯側の水抜き栓から一瞬水が漏れる	給湯側の水抜き栓は過圧逃し弁をかねています。水の圧力を逃がすために水が出る場合があります。

こんなとき	ここを調べてください
運転中に機器から異常音がする	点検依頼をしてください。

■リモコン

こんなとき	ここを調べてください
画面表示しない	◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか？ (P. 7) ◎停電していませんか？ (P. 3)
アラーム番号が表示された	アラーム番号を確認してください。 (P.20)

■機器本体・リモコン

こんなとき	ここを調べてください
燃焼ランプが点灯しない（運転しない）	◎電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか？ (P. 7) ◎停電していませんか？ (P. 3) ◎ガス栓が全開になっていますか？ (P. 7) ◎給水元栓が全開になっていますか？ (P. 7) ◎給水口フィルターが詰まっていませんか？ (P.16) ◎給湯栓が十分開いていますか？ (P.7,9) ◎断水していませんか？ (P. 3) ◎凍結していませんか？ (P.13) ◎ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していませんか？ ◎LPガスの場合、ガスがなくなっていませんか？ 上の10項目を確認して(リセット操作)をしてください。

それでもわからないときはアフターサービスをお申しつけください

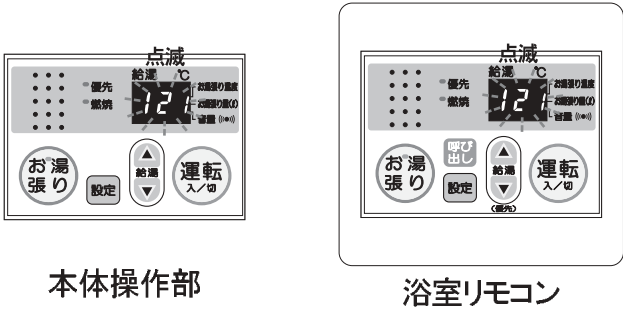
(リセット操作) 運転スイッチを一度「切」にし、5秒以上経過してから、運転スイッチを「入」にする。

■リモコンにアラーム番号が出たとき

機器に不具合が生じたとき、アラーム番号を点滅表示してお知らせし、自動的に運転を停止します。
アラーム番号が点滅表示したときは、不具合の内容と表示されているアラーム番号をお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

例：図のようにアラーム番号が
点滅してお知らせします。

本体操作部

浴室リモコン

アラーム番号	原　因	処　置
031	ガス種選択異常	ガス栓が全開であることを確認後、(リセット操作)をしてください。 ↓ それでもアラーム番号がでるときは、修理を依頼してください。
111　121	火がつかないときや、使用中に火が消えてしまったため	
311	温度検出器の故障のため	
381　721	燃焼系の故障のため	
391	燃焼異常検知装置の故障のため	
611	燃焼ファンの故障のため	
701	制御基板異常のため	
741　751	通信異常	
011	1時間以上、連続燃焼したため	給湯栓を閉じてください。
051　991	給気フィルター詰まり･燃焼異常が発生したため、燃焼異常検知装置が作動した	給気フィルターが詰まっていることが考えられます。給気フィルターの掃除を行ってください。　(→P. 17) それでもアラームが出るときはガス栓が全開であることを確認後、(リセット操作)をしてください。
131	排気筒接続異常	室内汚染されている場合がありますので、機器が設置されている部屋に入るのは危険です。ただちに修理を依頼してください。
510　511	ガス回路の故障のため	電源プラグを一旦外してから接続してください。 それでもアラーム番号が出るときは修理を依頼してください。
ＣＬ	お湯張り終了後、お湯張り機能が解除されていません	給湯栓を閉じて、**お湯張り**スイッチを押してください。(→P. 9)

(リセット操作)　運転スイッチを一度「切」にし、5秒以上経過してから、運転スイッチを「入」にする。

■こんな場合には安全装置が働きます。(　　)はアラーム番号

- ●寒いとき、機器の電気ヒータが働き機器内の凍結を予防します。・・・・・凍結予防装置
- ●バーナーの炎が消えた場合にガスを止めます。(121)・・・・・・・・立消え安全装置
- ●給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(721)・・空だき安全装置
- ●機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。・・・・・・・・・・過熱防止装置
- ●不完全燃焼を防止します。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・不完全燃焼防止装置

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

●「故障かな?と思ったら」(→P. 18～20)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、お客様ご自身で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

(1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
(2) 機器の品名:TP-520FESB-Q
　　ガスの種類:13A 12A
(3) 現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
(4) 訪問ご希望日

万一のときでも安心です!

東京ガスグループは万全なメンテナンスサービスをご提供します

受付対応

◆月～土曜日の修理は9:00～19:00まで電話受付
月～土曜日は朝の9時から夜の7時まで、機器の修理・オーバーホールのお申し込みを承ります。

◆日曜・祝日の修理は9:00～17:00まで電話受付
日曜・祝日は朝の9時から夕方5時まで、機器の修理・オーバーホールのお申し込みを承ります。

出張対応

◆月～土曜日の17:00までの受付は、当日中にご訪問

◆月～土曜日の17:00以降の受付は、翌日にご訪問
翌々日以降の希望日にご訪問することも可能です。
なお、緊急時の場合は、ご相談ください。

◆日曜・祝日の15:00までの受付は、当日中にご訪問

◆日曜・祝日の15:00以降の受付は、翌日にご訪問

万一、ガス機器に故障が生じた場合等、修理に関すること何でも、別紙「お問い合わせ先一覧表」をご覧になり、ご用命ください。

保証について

●この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
●保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

●この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。

転居または機器を移設される場合

●ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整が必要です。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
●増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
●設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、排気筒トップからの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
●転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

●お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへお問い合わせください。

仕様一覧

■仕様表

項目			内容
品名			TP-520FESB-Q
型式名			GS-A2000E
外形寸法（mm）/質量(kg)			幅334×奥行180×高さ550/17
種類	給湯方式		先止め式
	設置方式		屋内壁掛形
点火方式			AC100V連続放電式（ダイレクト着火）
水圧	使用水圧		100～500kPa（1.0～5.0kgf/cm²）
	最低作動水圧		10kPa（0.1kg/fcm²）
接続	ガス		15A(R1/2) オネジ
	給水		15A(R1/2) オネジ
	給湯		15A(R1/2) オネジ
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)
	リモコン側		24V以下
	消費電力	無負荷時	4W
		使用時	93W
		凍結予防時	106W
	電源コード		VCT(2心) 機外長1.5m
安全装置			空だき防止装置（水量センサ） ファン回転検知装置（回転数検知方式） 電流ヒューズ（過電流防止装置） 不完全燃焼防止装置（COセンサ） 凍結予防ヒータ（ヒータ） 空だき安全装置（ハイリミットスイッチ） 過熱防止装置（温度ヒューズ） 漏電安全装置（漏電スイッチ） 立消え安全装置（フレームロッド） 過圧防止安全装置（スプリング式） 誘導雷保護装置（サージアブソーバ）
付属品			取扱説明書・工事説明書・事業所一覧
別売品			浴室リモコン・リモコンコード

■能力表

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量kW	出湯能力（最大時）（ℓ/min）		ガス接続
			水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇	
都市ガス	13A	42.4	20.0	12.5	15A (R1/2)
	12A	39.5	18.7	11.7	

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
◎出湯能力は、水圧200kPa{2.0kgf/cm²}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

保 証 書

ガス給湯器
品　名　TP-520FESB-Q
型式名　GS-A2000E

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お買い上げの日から2年間とし、本体（リモコンを含む）を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
   電装基板・リモコン（電装基板に起因する故障のみ）······3年
   熱交換器······3年
2. 万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3. サービス員がお伺いしたときに、保証書をご提示ください。
4. 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
   (1)住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
   (2)取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
   (3)機器を調整、改造された場合の不具合（但し、当社都合の場合はのぞきます）
   (4)お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
   (5)建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
   (6)強い腐食性の空気環境に起因する不具合
   (7)犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
   (8)火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
   (9)電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
   (10)指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
   (11)給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
   (12)温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
   (13)本保証書を紛失された場合
5. 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへお問い合せください。

保証履行者　：　東京ガス株式会社　〒105-8527　東京都港区海岸1丁目5番20号

保証責任者　：　髙木産業株式会社　〒417-8505　静岡県富士市西柏原新田201

■お買い上げ日および販売店

お買い上げ日	年　　月　　日	
販　売　店		扱者印
住　　　所		
電 話 番 号		

見本

■修理記録
この機器の修理記録は、機器本体のフロントカバー裏に記録します。

■お客さまへ
1. この保証書をお受け取りになるときに、販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
4. この保証書によって保証書を発行している者(保証履行者・保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。